

2011 年度 4 月

～ 4 月 22 日 県庁でのヒアリングと県立浦安南高校視察～

3 月 11 日の地震・津波による福島原発問題について、選挙期間中も情報収集し、検討した結果を持って、川本さんは、県庁で農林水産部と環境部とのヒアリングを行いました。

県議会は、改選のある年度は、4 月 29 日までが任期となります。

午後は、浦安南高校の液状化被害の視察に行きました。浦安南高校は、もともと、地盤沈下の問題があり、補修もされていました。

浦安南高校は、浦安市第 2 期海面埋立事業で造成された土地に 1984 年 4 月 1 日創立された。JR 京葉線新浦安駅からバス利用

【新浦安駅前】

京葉線の新浦安駅周辺の様子に驚きました。液状化被害の補修がされていますが、どれだけ沈下したか様子わかります。



新浦安駅前のバス停



液状化で地面が下がり、建物の床面と段差ができ、補修が行われています。(色が違うところ)

地震の日より 40 日以上経つのに液状化で噴出した砂が未だ残されています。それほど大量の砂が噴出されたのだと思います。



浦安南高校までの道も波打っている様子が自動車に乗っていてもわかるほどです。道路わきには、砂が未だ残り、歩道もあちこちで波打ち、補修はかなり大掛かりなものになると思われました。

歩道のタイルも所々はがれ、縁石も波打っています。



【浦安南高校】



一級建築士の経験で厳しくチェックし、改修の方法も考える川本さん



海面埋め立て事業で造成された土地に 1984 年に創立した。以前から地盤沈下があり、補修されていた。



60 センチ沈下により、水道管と配水管の破損で、使用できない。



日々、生徒が行きかっただであろう渡りも歩くことはできません。

現在、浦安南高校の生徒は、3月に廃校となった船橋旭高校に9月までの予定で一時移転しているそうです。
直線距離で1キロのところにある私立東京学館浦安高校は、地震直後に業者が入り、ほとんど補修が終わり、生徒は通学しています。

4月22日のヒアリングの結果をふまえ、4月28日に「放射能測定体制の強化を求める要望書」を森田知事あてに、
「夏季の電力需要対策についての意見書」を東京電力あてに提出し、川本さんは4年間の千葉県議会議員としての職務を終えられました。
自民党がさらに定数を増やした千葉県議会、川本さんが起こした新しい風がどうなっていくのか。
川本さんが4年間訴えてきたことを一人でも多くの人に真剣に考えてもらえることを願っています。

アクアラインの800円、圏央道などの公共事業より、未来の千葉を担う高校生の教育の場を早急に改善してほしいと思います。



文責：しむら